

## タブレットを活用した自己表現までの一連の活動 (Here We Go! ENGLISH COURSE 3 Unit 7 Tina's Speech)

①書く

②個・表

②協・整

③タブ

③TV

④ロイノート

④Googleスライド

④Googleドキュメント

### 【ここがポイント！】

#### ダブルスクリーンでの共同編集機能を活用した『書くこと』の活動の充実

【Googleドキュメント】

英文の推敲の際には、英文をグループメンバーと共有し、改善点や、より具体的な表現の方法を助言してもらえることで、英文の質を向上することができる。

【Googleスライド】

グループ協議時には、アドバイスを「参考点」と「改善点」に分け、自身でまとめたり、読み手であるグループメンバーが直接入力したりして、改善することができる。

### 【実践の目標】

塩町中学校3年間で最も身に付いた力について、3年間で習得した語句や文を用いて、出来事や理由等を加えたまとまりのある英文を書くことができる。

### 【実際の場面】

#### 1. 3年間の学校行事や授業を振り返り、身に付いた力を確認する

『Unit Report』（英語科）や『塩中ノート』（総合的な学習の時間等）で残している記録を振り返り、自身の成長の軌跡を確認した。

#### 2. ロイノートの付箋機能を活用して、情報を整理する

3年間で一番身に付いた力を挙げ、ロイノートの付箋に学校行事やエピソードをキーワードで記し、文の順序を整えた。



#### 3. スピーチ原稿を作成する（個人思考）

自分の考えを Google ドキュメントに整理し、既習事項を活用して英文を作成した。

#### 4. 互いの英文を交流する（グループ協議）

作成した Google ドキュメントと、参考点と改善点を入力できる Google スライドをダブルスクリーンで映し出し、互いの考えを交流しながら、リアルタイムに気が付いたことを入力したり誤りを修正したりし、事前に作成していた英文と、グループメンバーからの助言を追加した英文とを比較して、表現内容の質の向上を図った。

#### 5. ALTからチェックを受け、再修正する

推敲したスピーチ原稿をクラウド上でALTに提出し、相手により正確に伝わるためのアドバイス（＝難解な表現を易しくする、自分の考えがよりよく伝わる表現等）を受け、再考した。

#### 6. スピーチ発表会〈評価〉

大型モニターにロイノートの付箋を提示し、生徒とALTの前で発表した。JTE・ALTの評価に加え、生徒同士での相互評価を行った。

### 【成果と課題】

【成果】

- アプリやタブレットの機能を単元を通して活用し、自らの思考をまとめたり、スピーチの改善点を客観的に見ることができたりして、主体的に学習できた。
- 英語に苦手意識を持っている生徒にとって、グループ内でスピーチ原稿やアドバイスをリアルタイムに共有できることで、アドバイスをすぐに自身の英文に取り入れられ、課題克服や英文の改善につなげることができた。

【課題】

- 修正前と後の原稿が残っていなかったため、メモ機能を活用したり、行間に設けたスペースに修正を加えさせるなど、生徒が修正した跡が分かるようにしておく必要があった。
- 翻訳機能に頼りすぎ、書くことの力の向上につながらない生徒がいた。紙の辞書との併用や、翻訳機能を使わせるのであれば、細かなルールの設定が必要である。

### 三次市立塩町中学校

